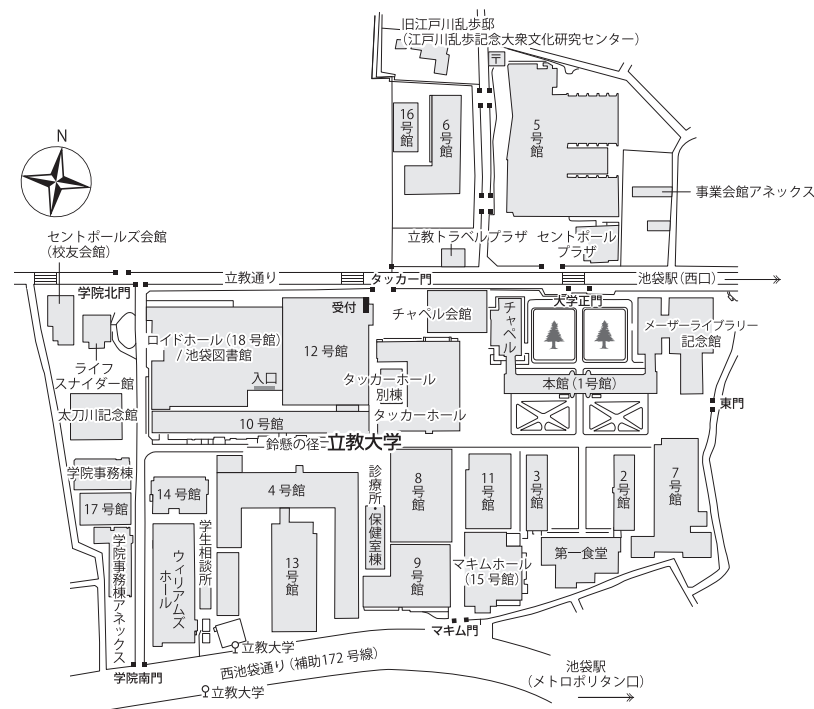


# ホスピタリティ・ マネジメント講座

「宿泊を中心とするホスピタリティ産業の経営と最新動向を学ぶ」



## 立教大学観光研究所

「旅行業講座」、「ホスピタリティ・マネジメント講座」、「観光地経営専門  
家育成プログラム」を運営している立教大学観光研究所の起源は、戦後す  
ぐ1946年に開設された「ホテル講座」にまで遡ります。

「ホテル講座」は、課外講座とはいえアジアで初めての観光・ホスピタ  
リティ教育機関でした。資金的な基礎は、箱根・富士屋ホテル社長であった  
山口正造氏の遺産からまかなわれました。観光を担う若い人たちの育成の  
ためにと寄贈されたものです。これに戦地から復員してきた学生たちの思  
いが呼応します。暗い時代への反省と、基幹産業が消滅した母国を、観光  
で支えていこうという願いが後押しして、「ホテル講座」は設置されました。  
まさに「平和産業としての観光」への熱意が、立教における観光・ホスピ  
タリティ教育を誕生させたのです。

国際連合が「国際観光年」と定め、「観光は平和へのパスポート」をス  
ローガンとして、国境を越えた観光往来の促進を強く訴えた1967年、立  
教大学は4年制大学として我が国初の観光学科を社会学部に設置すると  
ともに、立教大学観光研究所を創設。これまでの公開講座を「ホテル・観  
光講座」として引き継ぐことになりました。さらに1998年には社会学部か  
ら独立し、観光学部が新座キャンパスに設置され、同時に大学院教育は、  
我が国唯一の博士後期課程を持つ観光学研究科に再編成されました。

こうした観光・ホスピタリティ教育の発展、多様化の中、観光研究所の  
「旅行業講座」、「ホスピタリティ・マネジメント講座」、「観光地経営専門  
家育成プログラム」は時代に合わせて進化しながら、現在でも多くの受講者  
の方々を受け入れ、社会的な機能を果たしています。



立教大学観光研究所

〒171-8501 東京都豊島区西池袋 3-34-1

TEL : 03-3985-2577 FAX : 03-3985-0279

E-mail : kanken@rikkyo.ac.jp

http://www.rikkyo.ac.jp/research/institute/it/



# 「ホスピタリティ・マネジメント講座」のご案内

立教大学が常設の公開講座「ホテル講座」を開講したのは、1946年の戦後間もない混乱の時期でした。その後、日本経済の発展過程の中で、観光事業は、国際観光・国内観光とも著しい伸展を示すとともに、その経済的重要性はもとより、社会・文化的側面にわたる重要性も認識され、観光事業の幅広い専門的研究・教育が求められるようになってきました。

「ホテル・観光講座」は、このような社会的要請を背景として、常に新しい課題に取り組み、内容の充実を図り、その成果は、講座修了者の関係業界での優れた活躍となって現れております。こうして半世紀以上の歴史ある

「ホテル・観光講座」は、2001年度より「ホスピタリティ・

マネジメント講座」と改称し、再スタートしました。

## プログラム概要

宿泊産業を中心とするホスピタリティ産業の経営実務全般に関する知識を、理論的かつ実践的に学ぶための講座です。マーケティング、人事、デザイン、法規、地域振興、資産投資など多岐に渡る内容から業界の最新動向まで、各分野の専門家や業界を代表する経営陣をお迎えし、観光・レジャー産業で働く方々はもちろん、就職活動にのぞむ学生にとっても有益な学びの機会を提供しています。

## お勧めしたい方

- 宿泊を中心とするホスピタリティ産業を目指す各大学、専門学校在学学生及び卒業生
- 関連業界に従事される社会人で、積極的に業界の最新動向を把握し、専門的な理論や知識を習得することで日々の業務や新規事業開拓に活かしたいとお考えの方

## 講座の特典・課外活動

- 希望者には、立教大学図書館が利用できる図書館利用証を発行します。
- 東京都内の注目のホテルを訪ね、ホテルスタッフの方々より、施設等をご案内いただくホテル見学会を実施します。(過去の例：庭のホテル 東京、アンダーズ 東京、東京ステーションホテル等)
- 全講義終了後に修了式・パーティーを開催します。

## 受講生の声

### 人から生まれるおもてなしを学んで

将来サービス業に就きたいと考えており、就職活動が始まる前のこの年に講座を受けておきたいと思いました。また、昨年の夏、1か月間ホテルでインターンシップに参加したことにより接客について深く考えるようになったこともきっかけです。

この講座を通して、ホテルは、経営や人材教育など様々な面から成り立っており、特に顧客満足度や従業員満足度が重要であると強く感じました。ホテルが成長して日本の観光産業がより発展していくためには、社員一人一人が自分のできることを最大限に行う心のもったおもてなしをすることから始まります。お客様のことを知り、覚えること。お客様が言葉にされないニーズを先読みすることが感動を生む。おもてなしは全て人から生まれるということがこの講座を受けていて一番感じたことです。

(学生・女性)

### 誰でも学べる熱意ある講座

ホテルを不動産や投資という観点から捉える仕事に携わっていますが、偶然、本講座の案内を目にして、ホテルに関する幅広い知識を身につけたいと思い、受講を決意しました。

日頃、ホテルに限られた側面からしか見ていませんでしたが、それぞれの分野で活躍されている先生方の講義を受け、多様な専門分野と奥深さを知りました。また、多業種の方が受講されていることから、他の受講生との会話も新鮮で、この講座を通じて知り合えた方々との繋がりは、他には代え難いものであると感じています。

時間の捻出は大変でしたが、集中講座だからこそ、講座で得た知識がすぐ身になっていくことを実感できました。これで採算が合うのだろうか、こちらが心配になるほど、受講料に対して充実の内容でしたが、この不釣り合いの理由は、先生方の熱意に他ならないと感じました。幅広いテーマの熱い講義だからこそ、どのような年齢、職種、立場の人でも何かしら新しいことに気づいて、学ぶことができ、間違いのない講座であると、自信を持って薦めることができます。

(社会人・男性)

### 書籍や業界誌だけでは得難い最前線についての学びの場

私はホテルで働いて21年になりますが、ホスピタリティ産業について体系的・包括的に学んだことがありませんでした。本講座がその様々な分野について学べると知り、自分の学びの不足分を学べると考え受講を申し込みました。

各分野の中心で今まさに活躍中のそうそうたる講師の皆様方による講義では、書籍・業界誌等では得られない講師の皆様方の信念・意気込み・経験談等や質問に対するご意見を直接伺えて、本当に貴重な経験になりました。講師の皆様、事務局の皆様、鋭い質問により新たな気づきを与えてくださった受講生の皆様、私を講座に送り出してくれた職場の皆様、応援してくれた家族に感謝いたします。

至らぬ点ばかりの私ですが、講義での学びを胸に講義での出会いを大切にしてい、お客様にいつも喜びや感動を提供できるような人材になることを目指してまいります。本講座が、今後もホスピタリティを学ぶ皆様に末永く開かれ続けていくことを祈念いたします。

(社会人・男性)